

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		通所支援事業所 sumire (放課後)				公表日	令和8年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		少人数設定になるようにクラス編成しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準人員を超えて配置しています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		構造化された環境で分かりやすい空間にしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔な空間で、活動内容に合わせてスペースを確保しています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて落ち着きたい場所を各日できる環境にしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		スタッフ会議時に全員で確認し取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		スタッフ会議時に全員で確認し業務改善内容を話し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティング時に意見交換し業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者に見学してもらい意見交換と評価をいただいている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職責や経験に応じて研修を計画的に受講しています。事業所内の研修会も月に1回以上実施しています。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		日々の状態に合わせた支援プログラムが作成されホームページに公表されています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントから始めて保護者ニーズと発達の段階を考慮して計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達管理責任者が立案した計画を基にスタッフ間で話し合い検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画はスタッフ間で共有しています。当日取り組む内容も共有して支援しています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		随時インフォーマルなアセスメントを繰り返し実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		項目ごとに内容を整理しわかりやすく具体R的に設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		日々の利用者の状態から次の支援の方向性を全員で意見を出し合っています。		

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		外出スケジュール等を活用し変化を取り入れています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動と小集団活動を計画的に組み合せたシナリオを作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援内容や役割分担を開始前に打ち合わせしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		スタッフ全員でその日の支援のミーティングをし意見を出し合っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		スタッフ全員でその日の支援のミーティングをし意見を出し合い記録をとっています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		計画の項目ごとにモニタリングし必要に応じて見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1	4つの基本活動を組み合わせて自立を目指し支援を行っています。	4つの基本活動を確認したいと思うとの意見があつたので勉強会で確認していきます。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	スケジュールや活動内容を自分で選ぶ機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		定期的に学校訪問を行い子どもの状況について意見交換し連携しています。事業所に見学にもきていただいている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校と保護者と情報を共有してスムーズに進められるようにしています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		担当者会議に出席し情報共有と相互理解に努めています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0		まだ該当なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターからの研修会見学会勉強会に説教的に参加しています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	土曜セッション時に地域の子どもとの活動を設定しています。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	案内があった際には参加しています。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時にその日の様子や近況を伝え合っています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		特性を交えた情報提供と般化を目的に支援を進めてまいります。研修会の情報をお伝えしていきます。	
運営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧に説明しています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者のニーズを定期的に文書で確認し、その内容を支援計画に反映しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		モニタリングミーティングを対面で行い項目ごとに説明し同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があつた際は面談を設定し助言や事業所で達成した手立て等を般化しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	地域行事を知らせ一緒に参加する支援を行っています。	今後は父母の会の活動を支援していきたい思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情はまだないが、苦情につながらないように些細なことも情報を共有し対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	主にSNSを活用して情報を発信しています。	今後はさまざまな方法で情報を発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報伝達の方位も個別行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域の行事に事業所も参加し地域住民との交流を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し、定期的に確認し訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画を策定し万一に備えて机上や訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者からの情報をいたいたうえで、必要な際は医師に確認してまいります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理に常に留意し、定期的に訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		家族に連絡帳や個人ラインで連絡を取っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ミーティング時にヒヤリハットと対策を全員で話し合い共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		スタッフ会で定期的に研修会を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		保護者に説明し必要に応じて了解を得る体制を整えています。	